

コーポレート

TDK、FTSE Russell が提供する 3 つの ESG 投資インデックスの構成銘柄に選定

2025 年 7 月 30 日

TDK 株式会社（社長：齋藤 昇）は、調査対象企業の事業特性をもとに潜在的な ESG（環境、社会、ガバナンス）リスクに対する取り組みを評価する「FTSE Russell」ESG Rating において当社として過去最高となるスコア 4.8（5 点満点）を獲得し、ESG 投資における代表的なインデックスである『FTSE4Good Index Series』および『FTSE Blossom Japan Index』に 9 年連続、『FTSE Blossom Japan Sector Relative Index』に 4 年連続で選定されました。

今回の評価では、社会（S）分野のすべての項目で満点評価を獲得するなど、多くの項目で高い評価を得ることができました。具体的には、人権尊重に関する監督体制の明確化や、人権リスクへの対応状況に関する情報開示の充実、従業員に関するデータの公開など、サステナビリティ情報の開示を強化したことが高く評価されました。

これらのインデックスは、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）をはじめとする機関投資家によるサステナブル投資のベンチマークとして広く活用されています。なお、現在当社は、これらの 2 つの指数を含む GPIF が採用している以下 5 つの ESG 投資指数（国内株式）に選定されています。

- ・ FTSE Blossom Japan Index
- ・ FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- ・ MSCI 日本株 ESG セレクトリーダーズ指数
- ・ S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数
- ・ Morningstar 日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数（除く REIT）

今後とも、経営理念に基づき事業を通じた社会課題解決を目指すことを基本とするとともに、長期ビジョンである「TDK Transformation -サステナブルな未来のために、TDK は変わり続ける-」を掲げ、サステナブルな未来の実現に貢献してまいります。

TDK 株式会社について

TDK 株式会社（本社：東京）は、スマート社会における電子デバイスソリューションのリーディングカンパニーを目指しています。独自の磁性素材技術をその DNA とし、最先端の技術革新で社会の変革に貢献してまいります。

当社は各種エレクトロニクス機器において幅広く使われている電子材料の「フェライト」を事業化する目的で 1935 年に設立されました。主力製品は、積層セラミックコンデンサ、アルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサ、インダクタ、フェライトコア、高周波部品、ピエゾおよび保護部品等の各種受動部品をはじめ、温度、圧力、磁気、MEMS センサなどのセンサおよびセンサシステムがあります。さらに、磁気ヘッドや電源、二次電池、ソフトウェアなどです。これらの製品ブランドとしては、TDK、EPCOS、InvenSense、Micronas、Tronics、TDK-Lambda があります。

アジア、ヨーロッパ、北米、南米に設計、製造、販売のネットワークを有し、自動車、産業電子機器、コンシューマー製品、そして情報通信機器など幅広い分野においてビジネスを展開しています。2025 年 3 月期の売上は約 2 兆 2,050 億円、従業員総数は全世界で約 105,000 人です。

本文および関連する画像は https://www.tdk.com/ja/news_center/press/20250730_01.html からダウンロードできます。

報道関係者の問い合わせ先

担当者	所属	電話番号	Email Address
伊藤	TDK 株式会社 広報グループ	+81 3 6778-1055	TDK.PR@tdk.com